

# 市の事務・事業における温室効果ガス排出量について

## 1 市の事務・事業における温室効果ガス排出量の削減目標

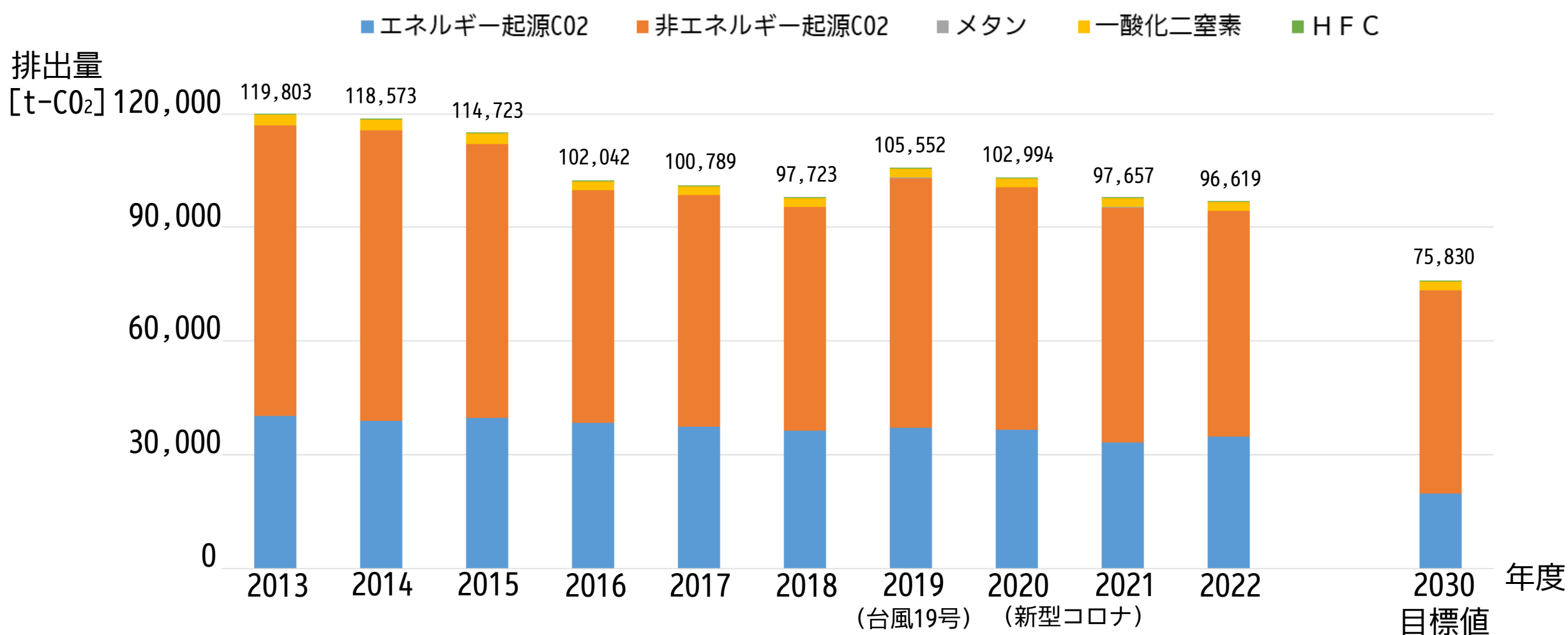
目標年度		基準年度	削減目標
中期目標	2030年度	2013年度 119,803[t-CO <sub>2</sub> ]	36.7% 75,830[t-CO <sub>2</sub> ]
長期目標	2050年度		100% ※実質ゼロ

## 2 市の事務・事業における2022年度の温室効果ガス排出量

市の事務・事業における温室効果ガス排出量を削減するため、市職員が率先して環境に配慮した取り組みを行いました。

	2013年度 <基準年度>	2021年度実績 <2013年度比>	2022年度実績 <2013年度比>
温室効果ガス排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]	119,803	97,657 (-18.5%)	96,619 (-19.4%)

## 3 市の事務・事業における温室効果ガス排出量の推移



## 4 分析と対策について

### ◆排出量減少の要因

ごみ焼却に伴う非エネルギー起源CO<sub>2</sub>が減少（昨年度比で約3.7%減少）。  
 一般廃棄物焼却量 2021：131,845[t] → 2022：127,059[t]（4,786[t]減少）

### ◆エネルギー起源CO<sub>2</sub>の増加

燃料・電力の使用に伴うエネルギー起源CO<sub>2</sub>については、昨年度比で約4.2%増加。  
 施設の運用が新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻り、照明等の使用が2021年より増えたことが考えられます。

### ◆今後の対策

引き続き、省エネルギーの取組を継続するとともに、照明設備のLED化、公共施設への太陽光発電設備の導入及び建築物新築時のZEBの検討など、様々な対策を推進し、目標の達成に努めてまいります。